

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○全体構成に関して		
1	<p>現行ビジョン（H28/2見直し）は、区（地域）特性・課題（問題）を整理の上、将来像・基本方針⇒活動プラン⇒重点プロジェクトで構成され、KPIが設定されていないのは残念ながら、住民としては理解しやすい内容になっています。</p> <p>しかし、2025案では、現行ビジョン策定以降の社会情勢や経年変化を踏まえて、現在、区としてどういう課題認識（優先度も含む）をもっておられるかが記述されておりませんが、その点（は将来像・基本方針以降のベースになるものであるため、繋がりを果たせるためにも示して頂きたいと思います。</p>	<p>前回の美原区まちづくりビジョンでは、現状を分析して課題を抽出し、その課題を是正していくために何が必要かを導き出す積み上げ方式で計画を策定していました。</p> <p>しかし、現在の新型コロナウイルスのまん延に見られるように、大きな自然災害の発生、社会情勢の急激な変化など、予測困難な課題が発生し、優先度もその時々で変化する状況を想定する必要が生じました。</p> <p>そこで、今回の美原区ビジョン 2025では10年後の将来像に対して今何をすることが必要なかを導き出すバックカスティングの手法を採用し、各課題を包括するように基本方針を設定しました。各課題に対する施策については、区政策会議等から意見を聴取しながら、将来像の実現に向けた活動に反映できるよう検討します。</p>
2	<p>市域全体の課題ではありますが、少子高齢化が進む中、「子育て世代の流出抑止・流入促進」は、区政全般の喫緊の課題であるため、子育て世代への優遇施策（雇用確保・税制・保育等）等の住環境整備について記述頂きたい。</p>	<p>美原区に住みたい、住み続けたいと思ってもらうためには子育て世代を含め、区民が安全、安心に暮らせることが重要です。</p> <p>子育て世代への施策につきましては、市全体の子ども・子育てに関する計画の施策に沿って、取組を進めていきます。</p>
3	<p>美原区は、都市圏に近い立地性と高速道路網に近接した優位性を有し、堺市基本計画 2025 の「空間像／エリア戦略の成長ゾーン」においても、「美原エリア活性化に向けた企業進出、投資促進、幹線道路沿いの企業誘致に向けた取組を促進」するエリアとして位置付けられ、雇用促進や税収確保にも繋がることから、「企業誘致（工業専用地域用地の確保及び新産業の創出）」に向けた各種の施策等について記述頂きたい。</p>	<p>ご意見にある通り、堺市基本計画 2025 において、美原エリアの企業誘致について記述があります。同計画を踏まえ、美原区ビジョン 2025 では「企業へのアプローチによる地域経済力の強化」が重要だと考え、基本方針としてその大きな方向性を示しています。今後、市全体として企業誘致を進め、都市機能の充実に取り組んでいきます。</p>
4	<p>現在、美原区内の主要幹線道路（特に国道 309 号）が慢性的な渋滞となっていますが、今後も渋滞が加速した場合、上記優位性を失い、他所への事業者転出もあり得るため、抜本的な解決策として、八尾富田林線や大阪河内長野線等の都市計画道路の早期整備が急務であることも併記頂きたい。</p>	<p>「安全で快適な交通環境への取組の強化」は重要と考えており、美原区ビジョン 2025 は、その大きな方向性を示しています。主要幹線道路の渋滞の緩和に向けて、大阪河内長野線等の都市計画道路の早期整備は重要であると認識しており事業を進めているところです。</p>
5	<p>美原区の約 4 割が市街化調整区域ですが、農業従事者の高齢化による後継者不足（後継者がいても兼業が多数と思われる）が顕在化してきている中、農業の省力化や生産性向上に係る施策だけでなく、市街化調整区域内で可能な新たな事業展開策の検討が急務と考えるため、「市街化調整区域のあり方」について記述頂きたい。</p>	<p>美原区は黒山地区の開発などで街並みが大きく変化する時期を迎え、それに伴い市街化調整区域に対する様々な考え方が出てくるものと考えられますが、土地所有者など関係者の意思を尊重しながら施策を進めることが重要です。</p> <p>なお、市街化調整区域などの土地利用のあり方などは、堺市都市計画マスタープランに基づき取組を進めていきます。</p>

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
6	バックキャストイングの方法は否定しませんが、理想的な未来の姿（将来像）から逆算した、現在取り組むべき施策（基本方針と活動プラン）が余りにも抽象的で、誰が主体となって、どのような方向性で取り組むのかわかりませんので、現行ビジョンを参考として方向性でもいので具体的な記述をして頂きたい。	美原区ビジョン 2025 は、10 年後の美原区がめざす将来像と、その実現のための基本理念と基本方針など大きな方向性を示しています。 具体的な取組については、美原区政策会議等のご意見の聴取を踏まえ、区の広報やホームページでお示ししたいと考えております。
7	「基本方針に基づき具体的に実施する事業については、各年度に作成する区の組織運営方針で示し、美原区政策会議の意見を踏まえマネジメントサイクルによる事業の見直しを行います」と記述されていますが、住民との協働により進めていく活動が多いであろう中、広く住民に情報共有して進めるべきだと思慮します。	ご意見のとおり広く区民の皆さまと情報共有することは重要だと考えております。区の組織運営方針や美原区政策会議での意見等については市のホームページ等を利用し広く区民の皆さまに周知します。
○基本方針に対する KPI について（P11. 12. 13）		
8	KPI で記載されている各年度の横に（西暦）を記載したほうが分かりやすいと考える。	ご意見のとおり KPI で記載している各年度の横に（西暦）を追加します。
9	基本方針 1 の KPI に、校区単位の地区防災計画の策定数を追加してはどうか。	本市においても各校区における地区防災計画の策定は重要であるとされており、KPI に追加します。
10	基本方針 1 の KPI に地域防災に係る住民の意識の向上に向け、「地域防災に係る区民の意識調査（EX：発災時の共助や公助への期待度（依存度）、指定避難所の運営の主体が住民であること等）」を実施し、実態把握が必要では。	基本方針 1 の KPI については、地域の防犯・防災活動に取り組んでいる人の割合を把握することで、区民の防災に関する意識の実態を把握することができると考えております。また、必要に応じて意識調査の実施を検討します。
11	基本方針 1 の KPI に生活道路での通勤・通学時間帯の車両通行量を追加してはどうか。	美原区区民評議会の「美原区における交通問題について」の提言書（令和 2 年 11 月）に記載のとおり、大型商業施設の開発業者は交通量調査を実施し対策を行っており、今後も開発業者や運営業者と連携しながら注視していきます。
12	基本方針 2 の KPI に、堺市による各種の発信（市 HP 等）に対するアクセス数を追加してはどうか。	このビジョン案を作成する中で、美原区ホームページへのアクセス数を KPI とすることを検討しましたが、美原区の魅力を多くの人に知ってもらうためには、行政からの発信だけでなく、区民や美原区を訪れた人など多くの方が SNS などを通じ発信していくことが大切だと考え、情報発信を行っている人の割合としています。
13	基本方針 3 の KPI に、みんなでつながり活躍できる場の創出数を追加してはどうか。	KPI については実数を把握し効果検証ができるものを採用しています。みんなでつながり活躍できる場の創出数については、自主的に活動する団体の実数を把握できないため、KPI にすることが難しいと考えております。

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
14	基本方針 3 の KPI では、外国人居住者が増加し、地域での軋轢も一部生じている中、どういう課題があるかを把握するために、それらの方々の意識調査も必要では。	未来を担う子どもたちの成長を支え、みんなの健康や暮らしを守るためには、人種、性別、国籍、宗教、文化など互いの違いを理解し、多様性を認め合う気持ちが必要であり、SDGs に掲げる「誰一人取り残さない」という決意をもって活動することが重要と考えております。そのため、外国人にターゲットを絞ることはせず、美原区在住の方への意識調査として進めていきます。
○基本方針 2 の活動プランについて		
15	歴史文化資源（黒姫山古墳、河内鋳物師、菅生神社、法雲寺など）を活用した「魅力的で訪れたい」まちづくりを促進する。 取組として、「魅力的な情報発信」、「訪れる人に満足していただける受入れ環境を整備」、「様々なイベントの継続実施」を追加してはどうか。	美原区は歴史文化を含め、緑豊かな町並み、道路交通網の充実、都市機能の発展など様々な魅力があり、ICT 時代に即した環境整備を進めイベントなどを通じて多くの人に様々な魅力を発信することが重要と考えております。 ご指摘いただいた点については、より本市の考えをご理解いただけるように、「アフターコロナを見据えた魅力の発信」の最後の文章を「イベントなどを通じて多くの人に歴史文化資源などに加え、美原都市拠点から生まれる新たな魅力を発信します。」へ変更します。
○その他		
16	日本全体で人口減少が 2019 年はじめて 50 万人を超えました。この傾向は美原区でも同様です。 生産を支える生産労働人口の減少は今まで担ってきた財政（行政）や社会保障制度に大きな影響与えることが必至です。	ご指摘の人口減少や少子化高齢化問題は、堺市基本計画 2025 を踏まえ、区民と行政の連携によって、美原区の魅力を発信し、健康や暮らしを守りながら、住み続けたい、住んでみたいとなるまちになるよう取組を進めていきます。
17	美原区では各鉄道駅へのアクセスは北野田、初芝、河内松原、恵我之荘への 4 つのバスルートがあり、どのルートもアクセス道路の道幅が狭いため、交通渋滞が発生し到着時間の不正確さからバス利用を阻害する要因となっています。また朝夕には歩行者、自転車、バスが集中して安全面からもこの際アクセス道路の活用について拡幅や運用方法を検討すべきです。	大型商業施設の開業に伴い、交通量の増加など周辺道路の交通環境に対する区民の意識は高まっており、また、公共交通機関の利用促進は重要であると認識しています。
18	商業施設や企業誘致で集客を促進する地域と、豊かな自然や緑あふれる街並み地域の保護、維持管理を並行して発展させてほしい、官民で協力し合い区民が誇りを持てる美しい街であり続けてほしいです。	美原区は緑が多く残り農業基盤も充実し、歴史文化の豊かな落ち着いた街並みを有しています。また、美原都市拠点では人の集まる施設が多くあり、美原区の魅力が増えると予想されます。これらの魅力を維持しつつ、堺市都市計画マスタープランを踏まえ、笑顔があふれるまちの実現をめざします。

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
19	美原区は緑の多い恵まれた環境を有していると言われてきましたが、それを支えてきた農業の実態は後継者不足や需要の減退により危機的状況にあります。幸い堺市には大阪府立大学農学部や農芸高校があり、また農業機械の大手企業がありますので 連携して新しい形態の農業を構築すべきです。そのことが人材確保につながり 環境保全にもなります。	ご指摘の農業の将来については「堺市基本計画 2025」、「堺市農業振興ビジョン」を踏まえ、市全体の施策に沿って取組を進めていきます。
20	美原区でも異常気象が常態化され 野菜や米作に大きな影響が出ています。現在国連を中心に世界中で脱炭素へ向けて活動がスタートしています。美原区でも生活環境を守るため取り組むべきです。	地球温暖化対策は世界的な問題であり、「堺環境戦略」を踏まえ、市全体の施策に沿って取組を進めていきます。
21	美原区内では総合病院は一か所しかなく 健康な生活ができるかは 当地区にとって重要な要素ですので今後どうしていくか早急に検討していくべきです。	かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実 は重要であり、国、府、市が連携し進めています。
22	一昨年の議会報告会で各自治会からも自治会への未加入者の増加が大きな問題になりつつあるとの報告がありました。それを少しでも解消するため、自治会の活動、人事、会費等見直す必要があり、誰もが参加意義を感じられるようにすべきです。	区民が安全、安心に暮らすにはみんながつながり、社会から孤立することを防ぐことが大切であり、孤立させないコミュニティ力の強化を図るためにも、自治会の活動等の支援について検討します。
23	美原区でも多くの外国人が居住されていますが、行政も自治会もその実態を把握されていません。このまま放置すれば教育、医療、防災等の面で問題が発生するのは明らかです。	未来を担う子どもたちの成長を支え、みんなの健康や暮らしを守るためには、人種、性別、国籍、宗教、文化など互いの違いを理解し、多様性を認め合う気持ちが必要であり、SDGs に掲げる「誰一人取り残さない」という決意をもって活動することが重要と考えております。
24	現在、全国で 850 万戸の空き家が存在しますが今後高齢化や核家族の増加によりますます増えることが予想されその活用が大きな社会問題になっています。美原区でもあちらこちらでも散見されるようになっており治安、環境面でも問題が発生することが懸念されますので早急にどうしていくべきか検討する必要があります。	市では、空き家対策として、「空き家相談窓口」の設置や「空き家等対策計画」を策定し、総合的かつ計画的な空き家対策を推進していくことを目的とし取り組んでいます。
25	美原区は、防犯治安上、安全安心に生活が出来る、美原区になる事。	人々が安全安心に暮らせることは大変重要です。そのためには防犯灯や防犯カメラなどハード面の整備とともに日ごろから、みんながつながり地域の安全確保に取り組むことが重要と考えております。
26	他人に迷惑を掛ける非常識な行動の改善策のため、美原区役所内への相談窓口の設置願います。	区役所には市民相談窓口を設置しています。今後も区民の皆様が相談しやすい環境と周知に取り組んでいきます。

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
27	<p>地区内の、ゆうせんで「訃報」の放送。通夜・告別式会場の案内・法事での寄付の貼り紙を止め、自治会・敬老会・子供会からのお知らせ、振り込み詐欺などの防止啓発・新型コロナ防止啓発や火災、地震、台風の防災行政無線へ切り替える。また、防災行政無線が、非常に、聞き取りづらいので、各小学校区に1つ、全地区の公民館に設置する改善を早急に願います。</p>	<p>地区内の貼り紙や放送については、各地区で話し合い決めている必要があります。</p> <p>また、防災行政無線屋外スピーカーについては、美原区内全域に27基設置しています。なお、防災行政無線は聞き取りやすさを向上するためデジタル化を進めておりますが、聞き取りづらかった場合には「防災放送聞きなおしサービス」（0180-99-7333 有料）をご利用ください。</p>
28	<p>各地区内の秋祭りは、統一して「ふとん太鼓」か、鳳などにある「だんじり」に、統一させる。また地区の祭りが「子ども祭り」になっており各家庭や事業所・店からの寄付回収の一切を止めさせ、堺市内の他の地区でもしている、子ども会主催での「子ども神輿（ふとん太鼓）」・「子どもだんじり」にする。地区として、他の自治体と同じく「地区青年団」方式を取り入れた青年団など、全員参加、大人メインの祭りなら、各家庭や事業所・店からの寄付を集めてもよいことに、変更させる。地藏盆・不動尊も、同じに改善を、早急に願います。</p>	<p>各地区の祭りのあり方については、各地区で話し合う必要があります。なお、宗教的行事のあり方については、市が関与すべき事柄ではありませんので、ご理解ください。</p>
29	<p>美原区内の道路は、非常に狭い幅の道路が多いのに、その狭い道路に無理やり突っ込んでくる自動車も多く歩行者や自転車、バイクなどが通行できない状況が続いていて事故が多発している。安全に配慮した改善と歩きやすい道路舗装へ改善してください。</p> <p>また、信号機が設置されていない交差点の改善も行い、事故が起きないように安全安心な道路への改善を早急に願います。</p>	<p>「基本方針 1：安全、安心に暮らせる」では「安全で快適な交通環境への取組の強化」は重要と考えております。みんなで意見を出し合い安全で快適な交通環境への取組を進めていきます。</p>
30	<p>雨の日・台風の日・駅前で待機待ち、タクシーが増えるので、鉄道網がない、美原区内にタクシーを呼んでも、全然、来て貰わないので、改善を、早急に願います。</p>	<p>安全で快適な交通環境への取組の強化は重要と考えており、ご意見として承ります。</p> <p>なお、日常生活を支える手段として「堺市乗合タクシー」が事前予約制でご利用いただけます。</p>
31	<p>美原区に商業施設ができてきているというのにバスの便利の悪さは一向に解消されていません。各駅と美原区内に早い段階での鉄道網を延伸できるように願います。</p>	<p>安全で快適な交通環境への取組の強化は重要と考えており、美原区ビジョン 2025 は、その大きな方向性を示しています。</p> <p>今後の技術革新や社会情勢の変化のなかで、どのような交通対策が有効なのか、交通事業者も含めみんなで話し合い快適な交通環境への取組を進めることが重要です。</p>

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
32	J A堺市の支店の誘致。J A堺市「農産物特売所」の誘致で、地元、美原を含めた、堺市内全域の農産物・食品・特産物を、美原区全域へ。美原区内のスーパー・コンビニ・ドラッグストア・ホームセンターなどに対し、地元、美原を含めた、堺市内全域の農産物・特産物の販売推進強化をしてください。	堺市内全域の農産物・特産物の購入場所が美原区内に必要とのご意見として承ります。 なお、地域、企業、行政などが協働して都市機能を充実させ、地域経済力の強化を図ることは重要だと考えております。
33	国道 309 号線沿いに、金融機関や郵便局等の移転または新規開設してください。	ご意見として承ります。 なお、店舗等の出店場所については郵便局や銀行の経営判断で行う内容と考えますが、地域、企業、行政などが協働して都市機能を充実させ、地域経済力の強化を図ることは重要だと考えております。
34	災害時の観点で、 ①南阪奈道沿い、美原ジャンクションの、丹上～小平尾間。 ②阪和道沿い、中央環状線、丹上～北余部間。 ③美原北小学校区エリア内の南阪奈-阪和道沿い。美原北小学校前の道路沿い。309 号沿いに、スーパーや食品も扱うドラッグストアが 1 軒もないので、現建物などの立ち退きの区画整備を早急に願います。（災害時、地区・校区内にあるかないかで、人命救助に繋がる。）	ご意見として承ります。 なお、店舗等の出店場所については民間事業者の経営判断で行う内容と考えますが、地域、企業、行政などが協働して都市機能を充実させ、地域経済力の強化を図ることは重要だと考えております。
35	堺の現全 7 区に、堺市指定の「認知症疾患医療センター」を、設ける改善を、早急に願います。 また、認知症や脳梗塞など、脳の疾患が増えているので、美原区か東区内の総合病院に、脳神経内科・物忘れ外来・認知症外来・精神科を置き、「脳内 R I（スペクト）検査」設備が置けるよう、堺市・大阪府で医療器具補助することを早急に願います。	かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実 は重要であり、国、府、市が連携し進めております。
36	誰も使用されていない住宅・プレハブ、放置されればなしの空き地・田畑、駐車場があるため、災害時に非常に危険なので、堺市が介入して、賃貸でも売却でもして、人が住んで利用してもらえるようにする。	空き家対策として、「空き家相談窓口」の設置や「空家等対策計画」を策定し、総合的かつ計画的な空き家対策を推進していくことを目的とし取り組んでいます。

美原区ビジョン 2025（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
37	<p>団塊ジュニア（1971年昭和46年～1974年昭和49年生まれ）の世代に対して早急に、長期定着フルタイム就労対策支援を願います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>堺市では、働く意欲・希望がありながら、様々な阻害要因を抱え、雇用・就労を実現できないでいる就職困難者等を支援するため、堺市地域就労支援センターで就労に関する情報の提供や相談を行っており、就労対策支援に取り組んでいます。</p> <p>また、就職氷河期世代（概ね1970年から1985年生まれの方）、新型コロナウイルスの影響で離職された方の就労支援も行っています。</p>
38	<p>団塊ジュニアの就職氷河期世代。その中でも、1974年昭和49年生まれ年の学年に、恋活・婚活支援を願います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、本ビジョンは区政運営の基本方針を示すものであって、具体的な事業は掲載しておりません。</p>